

宇田雄一「古典物理学」

23 $\forall f \in F_3; \forall S':$ 時空座標系; $\forall U':$ 電磁座標系;

[$h_3(f; S', U')$ によって次の文を表すことにする。

$$\forall \xi \in N_{01}; U' (f(\xi, \square, \square)) = [S'(\xi) \text{ での電磁場の値}]$$

24 $\forall m \in \mathbb{N}; \forall P'_1, \dots, P'_m:$ 質点; $\forall f \in F_{04, m}; \forall S':$ 時空座標系;

$\forall U':$ 電磁座標系; [$h_{04}(P'_1, \dots, P'_m; f; S', U')$ によって次の文を表すことに
する。 $h_{02}(P'_1, \dots, P'_m; f(N_{02, m}); S')$ and $h_3(f(N_3); S', U')$]

25 $\forall P':$ 質点; $\{h_{01}(P'; f; S') | f \in F_{01} \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ})\}$ の元を、 P' の分
布または P' の分布の歴史と呼ぶことにする。

26 $\{h_3(f; S', U') | f \in F_3 \text{ and } (S' \text{ は時空座標系だ}) \text{ and } (U' \text{ は電磁座標系だ})\}$ の
元を、 電磁場の歴史または単に電磁場と呼ぶことにする。

27 $\{h_{04}(P_1, \dots, P_n; f; S, U) | f \in F_{04, n}\}$ の元を、 自然の可変的な部分の歴史
と呼ぶことにする。 28 空欄。

29 $h_0(P_1, \dots, P_n)$ を自然の固定的な部分の歴史または環境条件と呼ぶことに
する。 30 空欄。

31 自然の可変的な部分の歴史全体の集合を \mathcal{H} と書くことにする。

32 \mathcal{N} を $N = N_{04, n}$ で定義する。 33 \mathcal{F} を $F = F_{04, n}$ で定義する。 34 $\mathcal{F} \subset \mathbb{R}(\mathcal{N})$

35 \mathcal{M} を次式で定義する。

$$\mathcal{M} \in \mathcal{H}(\mathcal{F}) \text{ and } [\forall f \in \mathcal{F}; \mathcal{M}(f) = h_{04}(P_1, \dots, P_n; f; S, U)]$$

36 空欄。 37 空欄。

38 $\forall f \in \mathcal{F}; [e_{04}(f, \mu(P_1, \dots, P_n; I, J)) \text{ を } \mathcal{L}(f) \text{ とも書くことにする}]$

39 空欄。 40 $\forall f \in \mathcal{F}; [\mathcal{M}(f) \text{ が可能だ}] \Leftrightarrow \mathcal{L}(f)$ 41 環境条件は真だ。

この文章は 1 20 21 22 24 25 27 29 32 33 34 35 36 37 38 39 の部分においてのみ $T_4(P_1, \dots, P_n; S, U, I, J)$ と異なる。